

# 国語科 中学校 1年

単元名「蓬萊の玉の枝『竹取物語』から」

## 本時の流れ（第5時）

本時の目標

○場面の情景や人物の心情を想像しながら、古文特有のリズムを生かして音読する。

- ・冒頭部分を全員で音読する。
- ・暗唱できる生徒が、代表で暗唱をする。

【めあて】

人物の心情や人物像が伝わるように古典を音読しよう。

- ・前時までの学習を振り返る。
- ・本時の学習の目標、学習課題を確認する。

登場人物の人物像、場面や情景など把握し、表情のある音読ができるように目標を立てさせる。

- ・「蓬萊の玉の枝」の部分を一齐に音読する。
- ・「蓬萊の玉の枝」の部分を2人ペアで音読する。

他人の音読を聞いて評価したり、自分の音読を評価してもらったりして、どのような表現が効果的かを考え、自分の表現に生かす。

- ・「くらもちの皇子」の心情や人物像を整理し、また、その根拠を確認する。
- ・各自で読み方の工夫についての目標をワークシートに整理する。

CLICK

相互評価用紙（ワークシート）はこちら

- ・読み方を工夫し、各自で音読の練習をする。

【具体的な音読の工夫】

- ① 声に表情を付ける。
  - ・得意げに
  - ・自信たっぷりに
  - ・いかにも本当のことらしく
- ② 読む速さの調節（緩急）
- ③ 声の強弱
- ④ 間の取り方

- ・（1回目）グループ内で聞き合い、相互評価する。
- ・各自で再度練習する。
- ・（2回目）グループ内で聞き合い、相互評価する。
- ・（全体）グループ内で評価の高い者が、代表で音読する。

CLICK

相互評価用紙（ワークシート）はこちら

- ・本時の学習を振り返る。
- ・音読テストを行うなど、次時の予告をする。

### 授業改善の視点

- ① 音読の方法について着眼点を明らかにすることで、各自が意図を持って質の高い音読を行えるようにする。
- ② 相互に評価し合い、それを自分の音読に生かすなど、言語活動を生かした授業展開を行う。

単元の流れへ

HOME